

地域と共に共生し、お客様に「ヨロコビ」を提供するマルハン 加熱式フロアでの紙巻きたばこユーザーの喫煙問題を解決

『スマートミニ』



中央通路に設置した『スマートミニ』。中央通路の開放感はそのままに、紙巻きたばこユーザーに最高の喫煙環境を提供している

「マルハン仙台苦竹店」は、総設置台数777台(パチンコ321台、パチスロ456台)で昨年末にM&Aでグランドオープン。立体駐車場を完備し、最寄り駅からも徒歩3分という距離にあるため、仕事帰りのサラリーマンから学生まで幅広い層が通う店舗だ。

同店は加熱式たばこ専用エリアを設けてオープン。紙巻きたばこユーザーにも快適な喫煙環境を整えるために導入したのが、エルゴジャパンの『スマートミニ』だった。

高山良平マネージャーは、「オープン準備を進める中で、紙巻きたばこユーザーへの配慮を考えたとき、店内のどこに喫煙できるスペースを確保するかという話になりました。一人用の『スマートミニ』なら、グループ店での実績がある製品で信頼もありますし、お客様の動線を考慮して設置場所を選べるコンパクト設計のため導入しました」と話す。

設置場所は、出入口から入ってすぐの外通路と中央通路。初来店でもよりも設置台数が多いのですが、『スマートミニ』はコンパクトサイズのため、外通路のスペースを有効活用することができ、中央通路の開放感も損なわれることなく設置できました。

「M&Aで取得する前の店舗が、『スマートミニ』はコンパクトサイズのため、外通路のスペースを有効活用することができ、中央通路の開放感も損なわれることなく設置できました。遊技台から使用状況が確認できることで好きなタイミングで喫煙できますし、休憩スペースから近いので、お客様にとって非常に便利だと思います」

喫煙率は5割弱。紙巻きたばこの煙や臭いが外に漏れることもないため、『スマートミニ』付近の台で遊技するお客様からのクレームもないという。また遊技台から最短距離に設置することで稼働時間のロスも軽減した。

「加熱式たばこ専用エリアを

設置したのも、ご来店されるすべてのお客様が快適に遊技を楽しめる環境作りのため。そして、稼働時間のロスを少しでも軽減するというのも理由の一つです。一人用は、すぐに吸つすぐ席に戻るというお客様が多いですね」

一人用の『スマートミニ』なら、昨年末から今年にかけて流行したインフルエンザなどの飛沫防止対策もとることができる。快適さだけでなく、お客様が安心・安全に過ごせる喫煙環境を目指す上でも『スマートミニ』は最適だと言えるだろう。

「特に年配層のお客様は感染症対策として、なるべく接触を避けたいと思う方も一定数いらっしゃると思いますし、一人用なら女性のお客様も入りやすいですよね。オープン後は外で喫煙される方もいらっしゃいますが、できる限りの台数を設置したことで、寒い季節でも店内で暖かく喫煙することができます。お客様が安心安全で快適に過ごせる遊技環境を目指す中で、『スマートミニ』は必要な製品だと実感しています」



一人用のため女性客も安心・安全・快適に利用できる